

# 認知症看護認定看護師

人口の高齢化に伴って認知症高齢者の方が増加しており、2025年には団塊の世代が75歳以上を迎え、5人に1人が75歳以上となり、人口の19%の人が認知症と推計されています。

認知症の主な症状として、記憶障害、実行機能障害(物事の段取りを計画的に決められない)、見当識障害(日付、時間、場所がわからない)があります。

そのため、入院したことを忘れてしまう、治療についても分からず、何をされているのかわからないことで恐怖や不安を抱えています。認知症患者さんが何に困っているかを確認し、どうしたら安心して過ごせるかを考えていくことが大切です。

## 役割

- ・認知症患者の全人的アセスメント
- ・認知症患者の療養環境調整、退院支援
- ・認知症患者のケア実践、ケア体制づくり

# 伊藤由美(2017年取得) 10B病棟

私は認知機能障害のある患者さんや認知症の患者さんに関わる中で、入院している現状を理解できず、不安を抱えている方や、混乱して興奮してしまう患者さんにどうしたら落ち着いて入院生活を過ごしてもらえるのか、どう対応したら安心してもらえるのか悩んでいました。そこで、認知症看護を学び、認知機能障害のある患者さんやそのご家族が少しでも安心して入院生活を送り、治療を行うことができるように支援していきたいと思います。

「その人らしく」生活していくためにはどうしたらいいのか、患者さんやご家族、医療者と一緒に考えていきます。

認知症の患者さんやそのご家族が笑顔で過ごせるように考えます。

## 現在の取り組み

- ・認知症患者の日常生活ケア
- ・行動心理症状への対応
- ・病棟看護師の認知症患者への対応力向上への関わり
- ・院内、院外の勉強会や事例検討の実施

